

# JHF理事会議事録

日 時： 2011年2月17日(木) 12:30～14:50  
場 所： JHF事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

## 1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 菊池 守男 議事録署名人： 工藤 修二 山口 淳一

## 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 荒井健雄 (14:00～) 内田孝也 大沢 豊

菊池守男 工藤修二 山口淳一

欠席 (理事) 市川 孝 城 涼一 安田英二郎

(監事) 對馬和也

(出席理事 6名。今理事会は 14 時より定足数を満たし成立した)

## 3. 理事・監事のひとこと

内田会長：2月2日に航空協会で航空スポーツ連絡会があり、岡さん桜井さんと行つてきました。法規制を連想させる発言が事故報告に関連して国交省課長からも聞かれ、継続して注意が必要です。7日はハングパラ振興委員会の第一回会合がありました。

工藤理事：野田の河川敷のスポーツ公園で行われた、トーイングによるアキュラシーフィールド大会に行つてきました。目立つので多くの人が立ち止まり、イベントとして工夫すれば集客力が高いと感じます。高度は150mくらい取りました。

12月の理事会が不成立で残されてしまった課題の国内記録を方針まとめましたが、教員名称の変更決議の問題は会長預かりと認識しています。

菊池副会長：明日から、ハンググライダー普及委員会が九州で行うトーイングの研修会を行ってきます。会長からの要請も承知しました。

山口理事：理事会を二回連続で休んでしまいます。事務局から預かって内容のチェックをしている2004年JHF開催のマヌーバ合宿の74本のデジタルテープですが、3分の2くらい見終えました。DVD教材などへの利用に適するものは、ほとんど見つかっていません。

大沢常任理事：先週の木曜から日曜まで、和歌山県龍門エリアでのハングの大会に行ってきました。人数が減って50人そこそこしか出場者がいません。タスクは良いものができる、内容は満足です。JHFで代理店からお借りしているデジタル無線には、充電バッテリーの追加貸し出しがあるのですか？

議長：出欠の連絡が取れず、現時点では不成立のため協議事項から開始します。

## 5. 協議事項

### 5-2 青森県ハング・パラグライディング連盟からの質問書

都道府県連盟が個別に集金できないから代行というのもっともな言い分だが、昔の執行部が固定金額を都道府県連盟に配分するとした約束の復活を求めているようにも感じられる。

一昨年度（2009年）総会を受けて、昨年総会でも説明した予算配分の基本方針があるので、それ

を改めて説明する回答書を作成し返答する。

### 5-3 大佐山ハンググライダーエリアからの依頼

エリアの閉鎖または存続については、当事者の（株）おおさネイチャークラブよりこれまでの報告があった。もう一方の当事者である大佐山ハンググライダー友の会からの、地元市長に対する全国機関JHFからの公式文書発信依頼は、あまりに唐突感がある。神奈川県での行政関連のエリアの先例では県連盟が取り扱った。口頭での情報も得ている大沢常任理事が、更なる事実関係の収集をし、両当事者の意向に沿うように努めることにした。

### 5-4 JHFホームページリニューアル

時間が不足となったことと、工藤理事と一緒に担当する安田常任理事が欠席のため、次月協議とした。

議長：荒井理事が到着したので理事会として成立し、審議事項の議決を進めます。

## 4. 審議事項

### 審議事項 4-1 国内記録のカテゴリー追加について

工藤理事：12月理事会での保留議案です。JHF ウェブでの国内記録掲示は評判が良いです。12月に提案した年間リーグは管理者や費用の問題からあきらめ、提案のカテゴリー追加による日本新、という記録のみを対象とします。

質疑により、審査担当は当面工藤理事とし、HG/PG 競技委員会委員長と、本日の委員長会議で審査担当の設置の合意を取ることを条件とした。また、モーターパラの記録を含め、記録掲示は「本人の申請」のあったもののみとすることとした。

採決の結果、【賛成5 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、工藤、山口

### 審議事項 4-2 JHF フライヤー会員規程について

内田会長：公益社団法人への移行に備え、これまでのJHF 会員会費規程から、移行時に切り替える会員会費規約ならびに入会及び退会規程を整備してきたが、フライヤー会員規程をそれらに整合させる修正が抜けていました。制度委員会に見直してもらった移行時から適用のための規程案です。

採決の結果、【賛成5 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、工藤、山口

### 審議事項 4-3 JHF 技能証・IPPI カードについて

荒井理事：以前もだめだと言われた案ですが、無料でIPPIを同時発行してあげたい。

内田会長：議案からは希望されていることが良く見えません。発行権を移管してもらおうというなら、FAI・JAAとの交渉が必要になります。費用が焦点なら、現在支払っている発行手数料やカード代金はなくせないと思います。

荒井理事：JHFで肩代わりしようという提案ではありません。そういう条件ならば提案を取り下げます。

採決せず。

## 審議事項 4－4 2012年度 HG 日本選手権開催地承認について

大沢常任理事：南陽市でキク祭りが100回目を迎えるので、先のことですが山形県連から誘致立候補がありました。

内田会長：開催を承認するのは歓迎ですが、通常はHG競技委員会から議案があがってきませんでしたか。委員会の頭越しで良いのでしたっけ。

大沢常任理事：これまで、必ずしもルートが固定されてはいませんでしたが、この議案は立候補提案をHG競技委員会に諮問するという審議事項に差し替えて議決をお願いします。

採決の結果、【賛成5 反対0 壟権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、安田

## 協議事項 5－1 2010年度決算予測について

前年度と同じ手法により、2010年度4月～11月実績を基にした今年度決算値の予測データが、内田会長より説明された。ポイントは予算収入で見込んだ会費より約一千万円収入が低くなる予測と、支出も同様に一千万円近く未達となることにより、收支は予算と同じく単年度黒字を見込むというものの。収入の予算との乖離は、予算編成時にその前の年度の決算予測値を元にしたところ、実際には決算より高めの予測だったことと、フライヤー会費値上げに伴って、3年会員が大きく減少したことによるもの。この予測値を元に、本日の委員長会議の審議を踏まえて3月度理事会で2011年度予算案を編成することとした。

### 6. 報告事項

下記それぞれ以下のとおり報告された。

#### 6.1 公益認定等委員会への移行申請について

12月12日に電子申請の提出が完了し、その後1月2月と委員会事務局からの求めに応じて補正提出を繰り返し、本日時点で本委員会の審議決裁待ちであると報告され、数日の内に公益移行の可否が決定することになった。

#### 6.2 予算收支：進捗管理表 (以下別紙のとおり)

#### 6.3 現金・預金・郵便振替残高明細

#### 6.4 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(菊池 守男)

署名人

(工藤 修二)

署名人

(山口 淳一)

議事録作成人：桜井加代子